

楽しく♪ 気軽に♪ 無理なく♪

ふれあい・いきいきサロンは身近なところで気軽に集まることができる場です。サロン活動を通して楽しいひとときを過ごしましょう♪

今月のサロン紹介

共栄サロンゆうゆう (白石区白石地区)

共栄第2町内会、共栄第3町内会、柏丘町内会の3つの町内会で構成する「白石共栄福祉会」が主催している高齢者向けサロンです。コロナ禍以降感染状況を鑑みながら、基本的な感染対策（マスクの着用や手指消毒、検温や換気等）を行い、毎月参加者が楽しめる活動内容を考え活動を続けてきました。7月は白石区第1地域包括支援センターの保健師の方による「認知症について」の講義がありました。内容は実際にあった事例を基にした紙芝居と認知症予防クイズとストレッチで、休憩時には講師の方へ質問をしたり、水分補給をしたり、マスクをつけたまま距離を保ちながらおしゃべりを楽しんだりしていました。

8月も開催を予定しており、今後も感染対策を続けながら活動をしていきます。



■開催日時：月1回 第4水曜日
13:30~15:00

■開催場所：白石共栄福祉会館

※新型コロナウイルスの影響を受け、開催日時等は流動的になっています

新型コロナウイルス感染症に気をつけて 通いの場を開催するための留意点



- 参加者には「検温」、「マスク着用」、「石けんで丁寧な手洗い」を呼びかける。
- 複数の人が触れる手すり、ドアノブ、テーブル、椅子などは、適宜、塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム0.05%）やアルコールなどで消毒する。
- 室内で開催する場合は、1時間に2回以上の換気を行う。
- 参加者同士の間隔は、互いに手を伸ばしたら手が届く範囲以上空ける。
- 会話をする際は、正面に立たないように、注意を促す。
- 文字（紙）や録音、マイクなどを活用するなど、大きな発声を控える工夫をする。
※詳しくは、厚生労働省HPで「通いの場を開催するための留意点」を参照ください。

開催が難しい時は・・・

手紙や電話、メールなどで定期的に連絡をとるなど、つながりを保つ工夫をする。

情報トピックス

コロナ禍：ようやくサロン活動が再開したところ、新型コロナウイルス感染数は、8月のお盆の時期に大幅に増加してしまいました。なかなか以前のような楽しく茶話会・歌をうたう・おしゃべりをする事ができない状況が続いてますが、正しくコロナを恐れながら、粘り強くサロン活動を継続し「楽しく・気軽に・無理なく」誰でも参加できる居場所を提供していきましょう！

ふれあい・いきいきサロンとは？



自宅に閉じこもり気味だったり、ご近所とのお付き合いがなかったり、地域でいつのまにか孤立している、という方も少なくありません。「ふれあい・いきいきサロン」とは、市民による市民のための居場所、交流の場として、顔なじみの輪を広げ、そこに住む人々がつながりを持てることを目指す活動です。

サロンの種類

就学前の子どもと親を対象として、親子同士の交流などを目的とした「**子育てサロン**」、高齢者の閉じこもり予防や孤立感の解消を目的とした「**高齢者サロン**」があります。またそれらのサロンを複合させたサロンもあります。

サロンの効果

- 楽しさ・社会参加・孤立感の解消
- 閉じこもりの予防
- 無理なく体を動かせる
- 身近な地域のボランティア活動
- 地域の福祉力の向上

主催者は？

町内会やマンション自治会、ボランティア団体や地域の福祉団体（地区社会福祉協議会や福祉のまち推進センター）などが主に主催しています。個人の方が自宅で主催するサロンもあります。

費用は？

参加費用を取るところと取らないところ様々です。参加費が必要なところでも **200円～300円**程度のおよです。

問い合わせ

札幌市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係 TEL：614-3344 FAX：614-1109

ふれあい・いきいきサロン事業 HP <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/join/salon/>

